

令和 7 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4 年間の目標 (令和6年度策定)	1 年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>○生徒一人ひとりの個性・可能性の開発と伸長が図れる教育を実践する。</p> <p>○必要な社会実践力を具体化し、それを身につけさせる。</p> <p>○学ぶ意欲、学ぶ楽しさを意識した授業改善に取り組む。</p>	<p>・ ICT を活用した分かりやすい授業と学び直しにより、生徒の学習への苦手意識を解消し、学習意欲の向上につなげる。</p> <p>・ 校内研修を実施し、ICT 活用の幅を広げることとさらなる授業改善につなげる。</p>	<p>・ ICT ツールを活用し、生徒の理解度を確認しながら学習を進め、TT で行う RT-21 や少人数授業を通して、きめ細かな指導を行う。</p> <p>・ 生徒による授業アンケートの結果を活用した授業改善研修を行い、教科ごとに改善点を検討し、さらなる授業改善につなげる。</p>	<p>・ 授業評価アンケートを通じ、生徒が身についたことやできるようになったことを実感できているか。</p> <p>・ 学習活動の中で生徒の理解度を把握できたか。授業アンケートや振り返りの結果を教材開発に生かすことができたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>○組織的な支援体制により、生徒一人ひとりが落ち着いて学習に取り組める環境を整える。</p> <p>○生徒を支援するという視点を持って、生徒指導を進め、学習・生活環境をつくる。</p>	<p>・ 様々な取組を通して支援が必要な生徒を見極め、個別の生徒に応じた支援策を検討・共有して支援の充実を図る。</p> <p>・ 校内外において、集団生活を通じて秩序を守り、基本的な生活習慣を確立する。</p>	<p>・ 学年会やコア会議で気になる生徒を共有し、かながわ子どもサポートドック等でさらに支援が必要な生徒を見極め、必要に応じて SC・SSW に繋げる。</p> <p>・ 一斉指導、登下校指導、遅刻指導を中心に規範意識を高めさせる。</p>	<p>・ 生徒情報を確実に共有したか。かながわ子どもサポートドック等を通じて表面化しにくい困難を発見し、必要な支援をしたか。</p> <p>・ 各指導を通じて生徒の規範意識は高まったか。</p>

3	進路指導・支援	<p>○自立した個人として自己のキャリア意識を高め、社会と関わり貢献できる生徒を育成する。</p> <p>○進路体験活動及び進路フェアの充実を図る</p>	<p>・進路先との円滑な接続を目指し、外部機関との連携を強化する。</p> <p>・進路フェアや進路体験活動を中心とした実践的なプログラムを実施し、自己理解・職業理解を深める。</p>	<p>・高大連携事業や体験授業、企業等による職業体験を実施する。</p> <p>・進路フェアや進路体験活動をより効果的にするプログラムを構築する。</p>	<p>・外部教育資源を活用し、進路先を見据えた進路行事を実施できたか。</p> <p>・進路に関する授業や行事を通じて、生徒の進路意識が向上したか。</p>
4	地域等との協働	<p>○保護者や地域との協働による学校づくりを推進し、人と社会と未来につながる開かれた学校づくりを推進する</p> <p>○中学生及びその保護者に本校の特色・情報等を効果的に発信する。</p>	<p>・学校行事を中心として、PTAや地域と連携するとともに、地域行事への生徒のボランティア参加を促し協働する。</p> <p>・HP、X等で本校の魅力を発信し、学校説明会や個別相談会を充実させ、本校の教育活動を理解してもらう。</p>	<p>・東翼祭や地域貢献デー等を通じ、PTAや地域との連携、生徒のボランティア参加機会を充実させる。</p> <p>・全公立展や学校説明会、校内外で実施する個別相談会、学校見学などを通じ、本校の魅力を発信する。</p>	<p>・学校行事やボランティア活動等の生徒参加率が増加したか。</p> <p>・学校説明会、個別相談会等の参加者へのアンケートにおいて、肯定的な評価率を高めることができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>○すべての職員が学校運営の主体としての意識を共有し、一体となって教育活動に取り組む組織づくりを行う。</p> <p>○職員の同僚性を高め事故・不祥事ゼロを目指す。</p>	<p>・すべての職員が、生徒の安全、安心を最優先に教育活動を展開し、生徒の学校生活を充実させる。</p> <p>・教職員の不祥事防止や働き方改革等について、相互理解を深め風通しのよい職場とする。</p>	<p>・すべての職員が防災行動等について、常に高い意識を持ち、想定外をつくらずに教育活動を計画する。</p> <p>・あらゆる機会を捉え、事故・不祥事防止の意識醸成を図るとともに、働き方改革に主体的に取り組む。</p>	<p>・生徒の安全、安心を守り、生徒の主体的な学びを支援することができたか。</p> <p>・不祥事防止研修会の充実を図り、事故・不祥事をゼロとしたか。働き方改革に主体的に取り組むことができたか。</p>